

「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略 概要版

人口減少社会の克服と，東京一極集中是正の，全国のモデルをつくる！
未来への京都市の挑戦，京都市の使命

平成 27 年 9 月



市民力・地域力の“凄さ”に感動！
この本市の最大の強みを発揮し、
人口減少社会の克服を、京都から！



京都市長
門川 大作

「ますます京都が素晴らしいまちになるよう協力したい」、
「“世界中のどこよりも、京都で子育てしたい”と思えるまち、
京都で育ったことを誇りに思えるまちにしていきたい」、
「私たち市民も人口減少の現状を知り、行動しなければならない」、
「京都ならではの『こころの創生』に賛同する」、
「自分でできる地方創生を考えたい」…

本総合戦略の策定に際して行ったパブリックコメント(平成27年8月18日～9月16日)には、700件を超える多くの御意見を頂戴しましたが、そこには以上のような“取組に賛同・協力する、自ら取り組みたい”等の御意見がたくさんありました。

また、それに先立って市民の皆様から「人口減少に主体的・自立的に挑戦しよう」という取組を募集したところ、活動助成等を伴わないものにもかかわらず、予想を超える137件もの意欲的な御提案を頂きました。それらの御提案を「京都創生・お宝バンク」に登録し、実現のための知恵と力を集める取組も進めています。

大変多くの市民、地域、様々な団体の皆様が、人口減少問題を「自分ごと」、「みんなごと」としてとらえ、課題の克服に向けて自ら考え、率先して行動を起こそうとしておられる。さらには「取組に参加したい」、「一緒にやろう」と熱い思いをもって大いに注目、関心、期待を寄せていただいている。そのことに、私は改めて感動しています！

今まさに、人口減少社会の克服、東京一極集中の是正を京都からと、市民ぐるみの挑戦の機運が確実に高まっています。このことをしっかりと受け止め、この戦略に掲げた「人の数(人口)だけではなく、“人々の笑顔の数”が、より多く、将来にわたって持続する社会」を実現する目標を、必ず達成しなければならない。その思いを一層強くしています。

一方で、我が国全体の地方創生に関して「取り組むことはよいが、現在の出生率を大幅に向上し、人口減少に歯止めをかけることは現実的に無理ではないか」等の声もよくお聞きします。

しかし、本市の最大の強みである市民力、地域力の“凄さ”を最大限発揮し、同時に、日本のこころのふるさと・京都の歴史力、文化力等の“奥深さ”を徹底的に活かしければ、明治の初めに維新で都の地位を失い、人口が3分の2に激減する危機を克服した“奇跡”を、京都から再び起こし得る。そう確信しています。

共々に力を合わせ、一丸となって挑戦してまいりましょう。どうぞよろしく願います。

「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」長期ビジョンと総合戦略について

1 位置付け等

「まち・ひと・しごと創生法」に基づく総合戦略であり、「はばたけ未来へ！京プラン」の未来像実現のための「人口減少社会への挑戦」という課題に対応する「総合的・横断的分野別計画」です

2 取組期間

長期ビジョン…45年後（2060年）を見据え基本理念や人口の将来展望等を示します。

総合戦略…今後5年間（平成27年度から平成31年度まで）の具体的な戦略を示します。

第1部 「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」長期ビジョン（2015-2060）

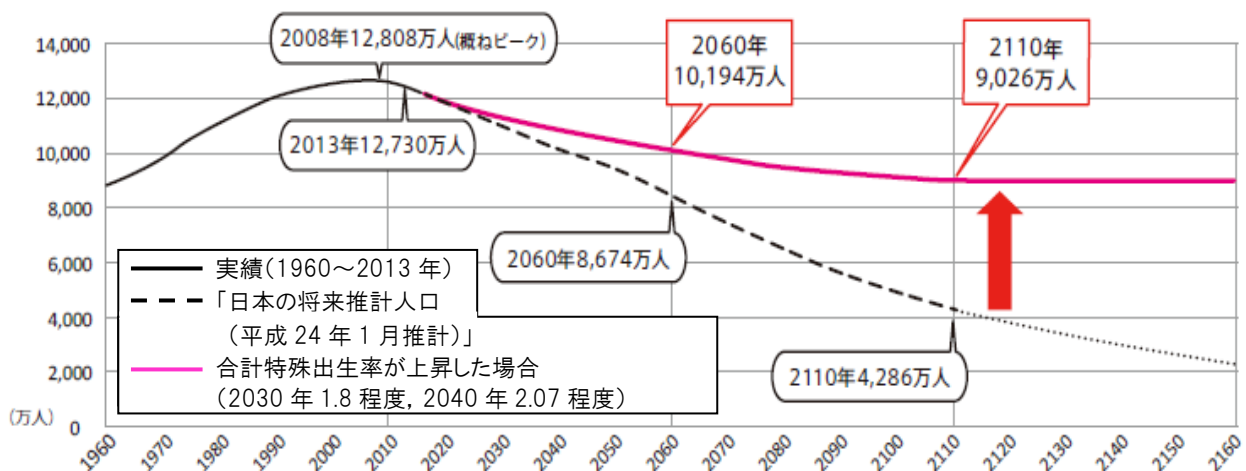
I 人口減少に対する認識等

1 日本全体の状況

- (1) 日本は「人口減少時代」に突入している。このまま続けば、人口は急速に減少し、その結果、経済規模の縮小や生活水準の低下を招き、究極的には国の持続性すら危うくします。
- (2) 日本の人口（平成27年1月現在、1億2,700万人）は、このままでは約100年後（2100年）には5,000万人を切ると推計されています。
- (3) 東京圏への人口集中が、人口減少を進行させています。
若い世代を中心に地方から東京圏に人口が流出し、地方の衰退が進行しています。
一方、東京圏では厳しい住宅事情や子育て環境等の課題から、出生率が全国一低くなっています。その東京圏に地方から（出産可能性が高い）若い世代が集中することが、日本全体の人口減少につながっています。
- (4) 人口減少への対応は「待ったなし」の課題です。出生率の向上が5年遅れるごとに将来の定常人口（人口規模が安定して維持される状態）は300万人ずつ減少します。

（参考）国の長期ビジョンの「目指すべき将来の方向」

- ・ 結婚や出産に関する国民の希望が実現すると、出生率は1.8程度に改善
- ・ 2020年に出生率1.6、2030年1.8、2040年2.07が達成されれば、50年後の2060年には1億人程度の人口が確保され、その後2090年頃には人口が安定していくと推計



（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））

2 京都市の状況

(1) 人口減少に対する先行的取組 —これまでから人口減少に挑戦してきた京都

ア 明治維新で人口が3分の2に激減。京都の先人は「まちづくりは人づくりから」と番組小学校の創設など50年後、100年後を見据えた取組で危機を克服。今日の京都の発展の礎を築いてきました。

イ 京都に伝わる日本の文化や価値観を大切に、京都の景観、伝統、文化を守り、育て、継承・発信する「京都創生」の取組を平成15年から推進。

ウ また、平成22年度策定の「はばたけ未来へ！京プラン」に、人口減少への対応を重視する方針を掲げ、総合的に政策を推進してきました。

(2) 転入が転出を上回る状況が続くも、自然減をカバーできず、中長期的に続く人口減少

ア 京プラン策定時(平成22年度)は、平成27年に143万8千人まで減少と予測(平成17年(147万5千人)比2.5%減)されていましたが、平成27年9月時点で146万8千人(平成17年比0.5%減)であり、一定歯止めがかかっています。

イ 自然増減(死亡数と出生数の差)は、平成17年から死亡数が出生数を超え(525人の減)、その後、減少数が拡大して平成26年には3,072人の減となっています。

しかも今後、この減少数はますます増加していくことが見込まれます。

ウ 社会増減(転入数と転出数の差)は、平成19年以降、転出数が転入数を上回る転出超過数(3,589人(平成19年))が縮小し続け、平成23年から転入数が転出数を上回る状況(1,071人の転入超過)に転じました。その後、平成26年には2,711人の転入超過となっています。

エ 上述のとおり社会増減は転入超過の傾向ですが、それでも減少数の多い自然減はカバーできず、今後も中長期的に人口減少傾向が続くと見込まれます。

(3) 本市の特性

ア (都市特性) 世界でも類を見ない多様性と奥深さを有する都市

本市の強み 「世界文化自由都市宣言」都市、世界に誇る歴史都市、芸術文化都市、宗教都市、精神文化の拠点都市、ものづくり都市、大学のまち・学生のまち、福祉・教育先進都市、多文化共生都市、環境先進都市、国際観光都市、特色ある農林業を育んできたまち、自治の伝統が息づくまち 等
以上の本市ならではの「強み」を最大限に活かすことが求められています。

イ (地理的特性) 市域の3/4が森林。大都市でありながら過疎等の課題を有する

本市は、大都市でありながら市域の4分の3を豊かな森林が占め、過疎地域、限界集落、限界集落化しつつある地域も抱えています。全国の、過疎等の切実な問題を有する各地とも、課題意識を共有する都市です。

ウ (地域特性) 各区・地域それぞれの魅力と個性が京都のまちの魅力を形成

京都には、まちなかも周辺部も含めて、各区・地域それぞれに、固有の悠久の歴史や奥深い伝統と文化、多様な魅力と個性があり、地域の特色ある暮らしと人々の絆がいきいきと息づいています。こうした地域特性を活かしながら課題の解決を図り、全体として調和のとれた魅力あるまちづくりを進めることが、極めて重要です。

Ⅱ 人口減少にどう立ち向かうか～“地方創生・京都モデル”「京都創生」の基本理念

1 “地方創生・京都モデル”について

- (1) 「人口減少に歯止めをかける」、「東京一極集中を是正し、地方に人口を呼び込む」という課題の表層だけをとらえると、“地方同士の人口の取り合い”や“アピール合戦”になりかねません。
- (2) 私たちが目指す地方創生は、そのようなものではないと考えます。地方創生をより深い視点でとらえ、私たちが取り組む“地方創生・京都モデル”＝「京都創生」の基本理念を次のとおりとします。

2 「京都創生」の基本理念

(1) 人の「数」の追求だけではなく、一人一人が笑顔で、安心して生き、暮らせる社会を追求する

子どもからお年寄りまでそれぞれが、かけがえのないいのち・心・個性の光を輝かせながら、いきいきとした笑顔で、生き、学び、働き、結ばれ、子どもを生み・育て、安心して暮らせる社会を追求します。

(2) 京都ならではの「こころの創生」を重視する

「人口の過疎」や「地方の消滅」も課題だが、日本伝統の美意識などが失われる「こころの過疎」や「日本のこころの消滅」も日本の将来にとって大きな課題

⇒ 日本のこころのふるさと・京都市が果たす役割は大きい。

- ・ 京都から、日本の伝統文化・伝統産業の魅力の発信力を強め、国内外の新たな需要を掘り起こし、幅広い地方の産業振興や雇用の維持・拡大に波及
- ・ 東京圏と異なる価値観の形成を促進し、地方への人の流れをつくる役割を担うなど、日本の「こころの創生」の中核を担うことを目指します。

(3) 国内外から訪れる「交流人口」も、「京都にとって大切なひと」として重視する

「人口」や「一人一人が笑顔で、安心して生き、暮らせる社会の実現」について考えるとき、京都市民はもとより、国内外から訪れ、集い、交流する人々＝「交流人口」も、「京都にとって大切なひと」として重視します。

(4) 全国の自治体と更に連携し、我が国全体の地方創生の推進を志す

本市の人口減少問題の克服に果敢に挑戦するとともに、全国の自治体と意思をつなぎ、政策をつなぎ、水平連携のもとに行動をつなぎ、我が国全体の地方創生を推進することを、京都市の使命として志します。

(5) 市民等と行政が共に「自分ごと」、「みんなごと」として、人口減少問題に一丸となって挑む新たな関係を築く

市民、地域、NPO、企業、大学、行政等が、危機感をしっかりと共有し、同時に夢や使命感を共有しながら、共に「自分ごと」、「みんなごと」として、本気で人口減少問題に取り組みます。

その上で、市民等と行政の“垣根”を超えて、いわば“合同チーム”を組んで、互いの知恵と力を融合し、磨き上げ、高め合い、最大限に発揮する、新たな関係を築きます。

Ⅲ 目指すべき将来の方向 ～京都市の挑戦～

人口の将来展望等

今後、目指すべき将来の方向は、「人々の希望がかなう社会」を築くことである。

(1) 人口減少の進行に歯止めをかけるため、まずは就労・結婚・出産・子育ての希望の実現に全力で取り組む

ア 現在、本市の合計特殊出生率（以下、「出生率」といいます。）は1.26（平成25年）と、全国水準を大きく下回っていますが、市民意識調査によると、本市の希望出生率は1.8でした。これを踏まえ、

若い世代の希望が実現すれば、本市の出生率は1.8程度まで向上することが見込まれます。

こうした状況を踏まえ、

まずは、若い世代の就労・結婚・出産・子育てに関する希望の実現に取り組み、希望出生率1.8の実現を展望しながら、出生率の向上を図ることが重要です。

イ さらに、人口減少の進行に歯止めをかけるためには、将来のどこかの時点で、出生率が、人口規模が長期的に維持される水準である「人口置換水準」（現在は2.07）に達することが求められます。

このことを見据え、

就労・結婚・出産・子育てをはじめ人々の希望がかなう社会を追求することが、さらに人々の「京都で子どもを生み・育てたい」という思いを高め、「希望出生率(1.8)の向上」につながっていくことを展望しながら、取り組む必要があります。

もとより、結婚や出産は個人の自由な決定に基づくものであることを十分尊重しなければなりません。

(2) 移住希望者の本市への転入を促進する

ア 本市の転入と転出の状況を見ると、平成23年から、転入数が転出数を上回る状況が続いています。（平成19年3,589人の転出超過 → 平成26年2,711人の転入超過）

しかし、当面、国全体の人口減少が一層進むと推測されること等から、今後は、更なる「右肩上がり」を続けることは難しくなると見込まれます。

イ 一方、本市と東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）との状況を見ると、本市から東京圏への転出者数が、本市への転入者数を年間約1,300人上回る傾向にあります。

ウ 国が行った「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」によると、東京都から移住予定又は移住を検討したいと思っている人が、回答者の約40%を占め、特に10～20代の若い世代では約47%を占めています。

エ 以上を踏まえ、「人々の希望がかなう社会」実現のもう一つの観点として、**移住希望者の希望の実現により、引き続き本市への転入を促進します。**

(3) 以上の取組により見込まれる人口の将来展望

※ 国立社会保障・人口問題研究所の推計

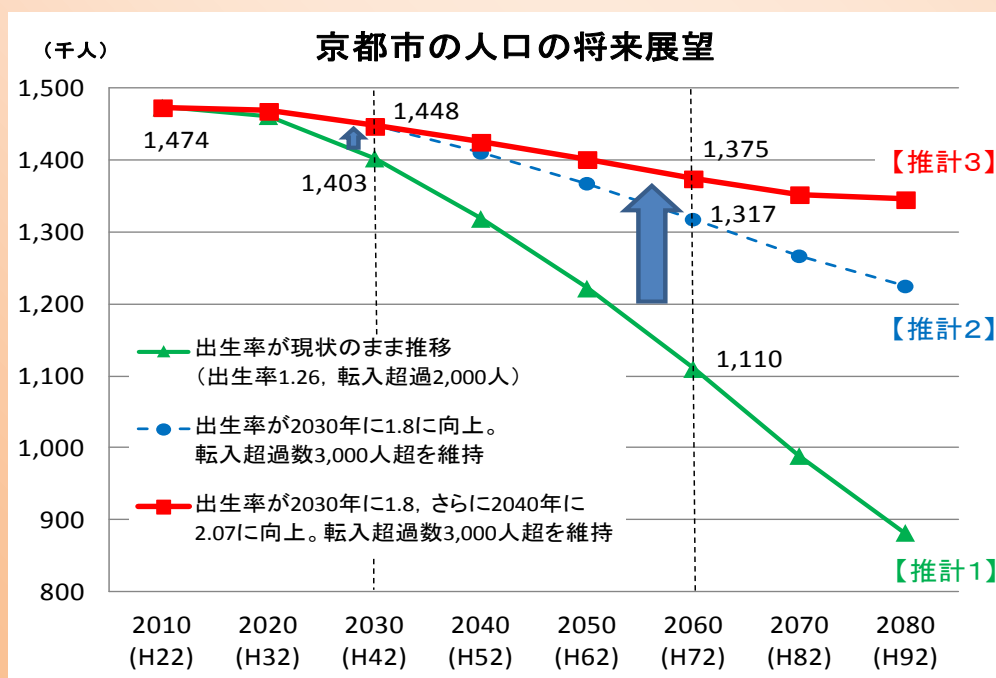
ア 本市の出生率が今のまま 1.26 で推移し、転入超過数が今よりも一定減少する 2,000 人の転入超過で推移すると想定し、国の推計式(※)に基づいて推計すると、2060 年には人口は 1,110 千人にまで減少すると見込まれます。【推計1】

イ これに対して、
国の長期ビジョンも勘案し、

① 平成 42 (2030) 年に本市の出生率が、市民の希望出生率の 1.8 まで伸び、
また、(現在の転入超過数から見込んで) 転入が転出を約 3,000 人上回る状況を維持し続けると、本市の人口は平成 42 (2030) 年に 1,448 千人となる。

ただし、出生率が平成 42 (2030) 年以降も 1.8 のまま推移すれば、人口は減少し続けることになる。【推計2】

② しかし、希望出生率が向上しながら、平成 52 (2040) 年に、本市の出生率が、人口置換水準の 2.07 まで向上すると、本市の人口は、平成 72 (2060) 年に 1,375 千人となり、その後、平成 92 (2080) 年頃には、人口が定常状態(人口規模が安定して維持される状態)になることが見込まれます。【推計3】



(4) 高齢者にいつまでも健康で心豊かに過ごし、活躍していただくことが重要です。

(5) 人口減少に歯止めをかける取組と並行して、一定の人口減少に対応して、安心安全で快適に暮らし続けられる社会システムを追求していくことが重要です。

(6) 一人一人が笑顔で安心して生き、暮らせる社会を展望するため、人々の「幸福」や「安心」の実感度を調査し、数値を注視するとともに、新たな調査の実施等も検討します。

I まち・ひと・しごと・こころ京都創生で取り組むこと ～京都市の使命～

京都ならではの「まち」「ひと」「しごと」の創生に、京都の知恵と力を最大限活かして取り組むとともに、京都の使命として、日本の「こころの創生」を目指します。

また、明治期の人口激減の危機を克服した京都の取組の根底にあった、「まちづくりは人づくりから」という哲学を踏まえ、「人づくり」の視点を、全てに共通する視点とします。

II 基本目標等

1 「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」で目指すまちの姿（イメージ）

一人一人がそれぞれの希望を実現しながら、日本伝統の美意識や価値観、家族や地域の絆など「日本のこころ」を大切に、安心して生き、働き、学び、暮らす。

同時に、国内外から人々が集い、活発に交流する。

そのことを通じて、単に「人の数（人口）」だけではなく、「人々の笑顔の数」が、より多く、将来にわたって持続する社会

2 5つの基本目標

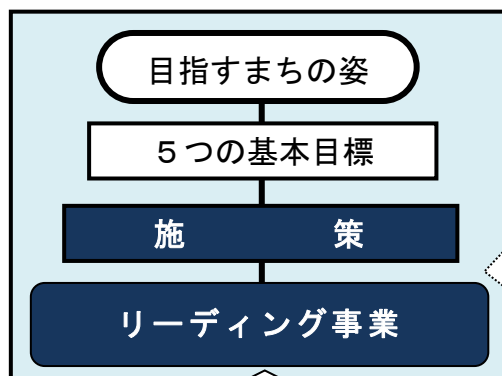
- ① 人々や地域のやさしさあふれる子育てしやすい環境を高め、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ② 国内外から訪れ、学び、住み、交流する新たな人の流れをつくる
- ③ 京都の強みを活かして、経済を活性化し、安定した雇用を創出する
- ④ 「日本のこころのふるさと」の魅力に磨きをかけ、心豊かな生き方、暮らし方を大切にする社会を築く
- ⑤ 地域の特性を踏まえ、豊かな地域コミュニティが息づく、安心安全で魅力と個性あふれるまちづくりを進める

III 目標の実現に向けた取組

1 総合戦略に掲げる

施策・事業について

（総合戦略体系図）



（先導的・象徴的なもの）

人口減少の歯止めに資する各種関係施策・事業等

特に以下の(1),(2)の観点の施策・事業等掲げ、他の関係施策等を先導する役割を果たす「リーディング事業」とします。

- (1) 人口減少に歯止めをかけるための重点施策・事業や、分野横断的な施策・事業
- (2) 市民・関係団体等主体の取組

2 「進化」する戦略

(1) 市民・関係団体等から多数の意欲的な取組の提案

ア 基本理念（P4）の(5)「市民等と行政が共に人口減少に挑む新たな関係づくり」につながる先行的取組として、取組提案募集を平成27年4月22日～7月31日に実施

イ 個人、市民グループ、地域団体、NPO、企業、大学等の皆様から、地域の活性化、移住、婚活、子育て、雇用、文化振興などに関わる、137件もの意欲的な御提案をいただきました。

(2) 市民・関係団体等との更なる連携により、戦略を「進化」

ア いただいた提案は、実現性、効果、熟度、主体的意向、新規性、発展性、本市事業との相乗効果等を総合的に判断し、それらが現時点で特に高いと見込まれる取組について、総合戦略のリーディング事業に掲載しました。（26件）

イ この取組提案について、今回、多くの御提案をいただいたことを踏まえ、今後、「更なる提案募集」等を行うこととし、総合戦略への追加・更新を検討します。

ウ また、本市事業についても、今後、「はばたけ未来へ！京プラン」後期実施計画（現在策定中）等を踏まえるとともに、状況に応じて適宜点検・見直し・追加を行うなど、総合戦略を固定的なものとし、必要に応じて「進化」させていくこととします。

「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」取組提案募集・「お宝バンク」の概要

【募集期間】 平成27年4月22日(水)～平成27年7月31日(金)

【応募要件】(抜粋)

- ◇ 人口減少社会の克服、東京一極集中の是正に向けた「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」に資する提案と認められること
- ◇ 応募者(団体)が主体的に取り組む、又は取組に関与する意向があり、取組内容が行政に対する単なる提案や提言、要望ではないこと

【提案募集から実施までの主な流れ】

1 個人、市民グループ、地域団体、NPO、企業、大学等から取組提案を募集

2 応募いただいた提案は本市ホームページ上の「京都創生・お宝バンク」に登録・公開し、広く情報共有し、実現を後押しする知恵や力を集めます。

3 「京都創生・お宝バンク」に登録された提案について、外部有識者と本市職員によるコーディネーターが、実現のために知恵を絞り、行政や他の団体等とのマッチングを試み、提案の更なる力を引き出し、高めるためのコーディネートを行います。

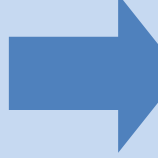

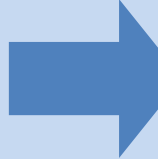
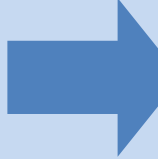
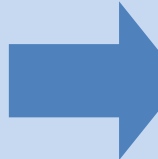
4 コーディネートを経て、取組の具体化に挑戦していただき、京都市もできるかぎりのサポートを行います。

以上の運用に当たっては、市民との協働の先行的な仕組みである「京都市未来まちづくり100人委員会」の取組で培われた知恵や力、ノウハウの活用を図ります。

【5つの基本目標・施策・リーディング事業等の体系】

(5つの基本目標)

(施 策)

<p>基本目標 ① 人々や地域の やさしさあふれる 子育てしやすい環境 を高め、若い世代の 結婚・出産・子育て の希望をかなえる</p>	<p>施策 1 結婚支援～「子育て・教育環境 日本一」 を実現するための子ども・子育て支援</p> <p>施策 2 地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づ くりと「真のワーク・ライフ・バランス」の推進</p>	
<p>基本目標 ② 国内外から訪れ、 学び、住み、交流す る新たな人の流れを つくる</p>	<p>施策 1 京都への移住・定住の支援</p> <p>施策 2 京都の強みを生かした交流人口増加</p>	
<p>基本目標 ③ 京都の強みを活かして、 経済を活性化し、 安定した雇用を創出 する</p>	<p>施策 1 新産業・新事業の創出支援、及び中小・小規模企業 の事業の持続的発展支援</p> <p>施策 2 魅力あるビジネス環境の整備</p> <p>施策 3 働くことを希望する人と魅力ある京都の中小企業 の出会いの支援</p>	
<p>基本目標 ④ 「日本のこころのふ るさと」の魅力に磨き をかけ、心豊かな生 き方、暮らし方を大 切にする社会を築く</p>	<p>施策 1 「日本のこころ」を守り発信する取組、 こころの絆の継承、自然との共生</p> <p>施策 2 日本の伝統・文化を基軸とした「世界の文化首都・京都」 の実現</p>	
<p>基本目標 ⑤ 地域の特性を踏ま え、豊かな地域コミュ ニティが息づく、 安心安全で魅力と個 性あふれるまちづくり を進める</p>	<p>施策 1 地域コミュニティ等と行政の連携の仕組みづくり</p> <p>施策 2 安心安全な、便利で暮らしやすいまちづくり</p> <p>施策 3 健やかに生きがいを実感できる健康長寿のまちづくり</p> <p>施策 4 都市部・周辺部それぞれの地域資源を活用した個性 と活力あるまちづくり</p>	

リーディング事業の中から、シンボリックな事業を選定し(複数)、事業担当部局の本市職員や、取組主体の市民等によるプロジェクトチーム(チーム京都)を組んで、一体的に推進することを検討。

推進体制:シンボリックな事業を選定し「チーム京都」で推進(例)

(リーディング事業(主な事業)) ★=新規, ◎=市民等取組提案

次世代のはぐくみと妊娠・出産・育児期まで切れ目のない支援 / 婚活支援事業 / 子ども・子育て支援による「子育て・教育環境日本一」の実現 / 総合的な空き家対策の推進 / ◎婚活などの実施 / ◎企業の「事業所内保育所」の共同設置支援 ほか

結婚・出産・子育ての希望 みんなで応援チーム(仮称) など

★家庭での家事・子育て, 仕事, 地域活動などで活躍する女性の体験談等の情報発信 / 子どもを共に育む「親支援」プログラム推進, 青少年に対する親としての学習機会等の充実 / 保護者・地域が学校運営に参画する学校運営協議会の設置校拡大 ほか

★庁内体制強化による移住促進・支援 / 総合的な空き家対策の推進 / ◎京都への移住希望者の応援事業 / ◎移住希望者の心配を解消するインターネットサイトの開設 ほか

「住むなら都」移住支援チーム(仮称) など

★高度人材交流拠点の形成 / MICE 誘致強化 / 市バス・地下鉄の外国人旅行者サービス充実 / 琵琶湖疏水の魅力発信 / 大学を核とした地域連携, 企業連携 / ◎学生県人会組織づくり ほか

★ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業 / グリーン・ライフサイエンス分野での新産業の創出支援 / 中小・ベンチャー企業の創業・育成支援 / 中堅企業への成長支援 ほか

魅力的な仕事との出会い促進チーム(仮称) など

★中小企業支援の拠点となる京都経済センター(仮称)の整備 / 企業誘致を推進するための新たな産業用地の創出 ほか

★京都ならではの働き方改革推進 / ★京都観光職業体験など京都ならではの働き方体験事業 / 中小企業の人財確保・定着支援の推進 / ◎京都の中小企業への若者の就労・定着サポート ほか

★京都遺産制度の推進 / ★学校給食における「和食」の充実に向けた取組 / ★まち・お店・ひと 縁結びプロジェクト / ★日本のところをつなぐ伝統産業・市町村共同プロジェクト / 京町家の保全・活用の推進 / ◎ココロを贈る京の御馳走プロジェクト / ◎自然と共生し, 季節を感じるころの創生~二十四節気を意識する暮らしの推奨 ほか

「日本のこころ」創生チーム(仮称) など

★「伝統産業の日」全国拡大・法制化 / 文化庁など政府関係機関の京都市移転 ほか

★空き店舗流通促進事業 / 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」の充実 / 各区における「まちづくりカフェ事業」の充実 ほか

各区・地域の「我がまち」創生チーム(仮称) など

「みやこユニバーサルデザイン」等の推進 / 世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動 / 防災行動マニュアルの実践による地域防災力向上 ほか

★高齢者が地域の支え手として活躍できる仕組みづくり / ◎からだの学校(健康長寿のまちづくり) ほか

★まちのシンボルとなる橋の創出 / ★ニュータウンの活性化の取組の推進 / ★北部山間地域の振興 / 京都のまち全体の都市格の向上と魅力の発信を目指す地域のまちづくり / ◎「我が区・地域紹介!街ソング」の制作・広報 ほか

3 具体的施策・事業

基本目標① 人々や地域のやさしさあふれる子育てしやすい環境を高め、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

<成果目標>・ 保育所等の待機児童ゼロの継続

施策1 結婚支援～「子育て・教育環境 日本一」を実現するための子ども・子育て支援

<施策の方向性>

少子化、未婚化、晩婚化対策として、結婚を希望する男女に対して、出会いと交流の場を提供する婚活イベントなどの結婚支援を行うほか、大学のまち・学生のまちの特性を踏まえ、学生や院生が結婚や子育て等の人生設計を考え、その実現に少しでも早く踏み出せる環境づくり等に取り組みます。

安心して子どもを生み育てることができる社会環境づくりを進めるため、幼児教育・保育の提供や、子育て家庭への経済的な支援、ひとり親家庭への支援、放課後の子どもたちの居場所づくりや、市民等との協働による公園整備など、子ども・子育て支援施策の充実等を図ります。

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和の取れた育成を図り、子どもたちがたくましく未来を切り拓くことのできるまちづくりを進めます。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）

★：新規

次世代のはぐくみと出会いから妊娠・出産・育児期まで切れ目のない支援 ①★思春期保健対策の強化、②★子育て・若年層世帯に対する住宅支援、③妊娠・出産・育児期を通じた包括支援の推進など、出会いから妊娠・出産・育児期まで切れ目のない支援を行う。

婚活支援事業（京都婚活、婚活推進事業支援補助金等） 結婚を望む市民に出会いと交流の場を設けるための支援策として、京都商工会議所青年部と共催で京都婚活等を実施する。また、非営利団体等が実施する婚活事業に事業補助を行う。

子ども・子育て支援の充実による「子育て・教育環境 日本一」の実現（再掲 P13） ①保育所等の待機児童ゼロの継続（保育所整備、幼稚園預かり保育の充実、小規模保育事業等設置促進）、②子どもの医療費負担軽減の更なる拡充、③全ての子どもたちの学力の定着・充実に向けた取組の推進など、子ども・子育て支援の充実による「子育て・教育環境 日本一」を実現する。

総合的な空き家対策の推進（子育て世帯等の受入れ環境の整備）（再掲 P13）

（市民等取組提案）

婚活など京都市民が活気づくイベントの実施 **京都リビング新聞社** 一人一人の“ひと”の心豊かな生き方・暮らし方を重視する地方創生を応援するため、婚活やマラソン大会などのイベントの実施等に取り組む。

企業の「事業所内保育所」の共同設置支援 **(株)アルファコーポレーション、滋賀銀行** 複数の中小企業等における社員の保育ニーズを踏まえ、共同で「事業所内保育所」の設置を支援。地域との交流等も含めて、地域とともに子どもを育む保育所づくりを目指す。

施策2 地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくりと「真のワーク・ライフ・バランス」の推進

<施策の方向性>

家庭・地域・育ち学ぶ施設・企業・行政など社会のあらゆる場で、市民みんなが子どもの育ちと子育てを支えあい、応援する風土づくりを進めます。

子どもたちの今と未来のため、市民共通の行動規範として制定した「京都はぐくみ憲章（愛称）」の実践による、子どもたちをこころ豊かで健やかに育む社会づくりを進めます。

若者をはじめ、市民一人一人が仕事や家庭生活、社会貢献などにおいて、生きがいと充実感を得て人生が送れるよう「真のワーク・ライフ・バランス」の実現した社会を目指して取組を推進します。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）	★：新規
<p>★家庭での家事・子育て，仕事，地域活動などで活躍する女性の様々な“輝き方”の情報発信等 家庭での家事・子育てや仕事などで活躍する女性の体験談等を，ホームページ（「住むなら都」等）で発信するとともに，男性の家事・子育て等への積極的関与を支援するための情報提供も含め，子育てや様々な活動に役立つ情報をお知らせする。また，結婚し，家族をつくり，子育てをする喜びを社会全体で共有できるような情報発信等に取り組む。</p>	
<p>子どもを共に育む「親支援」プログラムの推進及び青少年に対する親としての学習機会等の充実 保護者同士が，子育てに必要な知識や技術・悩みや疑問などを共有することで，親自身が成長することを目指す「子どもを共に育む『親支援』プログラム」を推進するとともに，これから親になる世代に対して，いのちの大切さ，親の役割及び家族の重要性をより理解することができるよう「青少年のための親学習プログラム」を推進し，学びの機会の充実を図る。</p>	
<p>男性が主体的に家事・子育て・介護等家庭生活に関わることができる環境・機運づくりの推進 男性が主体的に家事・子育て・介護等家庭生活に関わることができる環境・機運づくりを推進するための各種講座等を実施する。</p>	
<p>「輝く女性応援京都会議」の運営 経済団体等と行政が連携した「輝く女性応援京都会議」で採択した「行動宣言」に基づき，女性の活躍推進にオール京都で取り組む。</p>	
<p>保護者・地域が学校運営に参画する学校運営協議会の設置校拡大 学校支援活動や学校関係者評価を通して，保護者・地域が積極的に学校運営に参画し，学校運営について「協議」するだけでなく，共に「行動」する京都方式による「学校運営協議会」の設置校の拡大を図り，学校運営や教育活動の充実及び地域コミュニティの活性化につなげる。</p>	
<p>★京都ならではの働き方改革推進（不本意非正規の正規化・安定雇用）（再掲 P17）</p>	

（市民等取組提案）

妊婦が安心して出産・子育てできるよう情報提供したりつながれる場づくり

つどいの広場いっぽ（NPO 法人京都子育てネットワーク） 妊娠中から子育て支援の場とつながれるよう，先輩ママとの交流会の企画，運営等を行っており，行政との連携により広報や支援の充実を目指す。

ママのための健康診断 **マミーズアップ** 子どもや家族を優先するあまり，後回しになりがちな母親自身の健康管理意識を向上させるため，例えば，保健センターの健康診断の日に合わせて，見守り保育や母親向けの癒しサービス・健康関連講座を開催するなど，母親を支援する。

基本目標② 国内外から訪れ、学び、住み、交流する新たな人の流れをつくる

<成果目標> ・ 転入超過数の継続 (3,000人)

・ 外国人宿泊客数 H26年度 183万人 ⇒ H32年度 300万人

施策1 京都への移住・定住の支援

<施策の方向性>

固有の歴史や奥深い伝統と文化、豊かな自然などが息づく本市の各地域が持つ、多様な魅力と個性を活かし、移住希望者と“しごと”、“住まい”、“子育て支援”とのマッチングや、移住希望者の視点に立った移住関連情報の発信などにより、**京都への移住・定住を総合的に支援**します。

リーディング事業 (先導的・象徴的事業)

★：新規

★移住促進・支援施策の推進 庁内体制の強化を図り、市民等提案の取組等と連携しながら、移住希望者の“しごと”、“住まい”、“子育て”等のニーズや、都心部の暮らし・周辺部の暮らし・二地域居住などライフスタイルの希望に対応した移住促進・支援に取り組む。また、他都市から移住してきた方などの協力を得て、外から見た京都の魅力や課題を探り、参考にしながら施策の効果的な推進を図る。

★京都に住む魅力のPR冊子の制作と移住希望者への情報発信 職住近接や充実した子育て環境など京都に住む魅力のPR冊子を制作し、ふるさと回帰支援センター等を活用して情報発信する。

総合的な空き家対策の推進 (再掲 P11) 平成26年4月施行の「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」に基づき、「空き家の活用・流通の促進」をはじめとする総合的な空き家対策を推進する。

子ども・子育て支援の充実による「子育て・教育環境 日本一」の実現 (再掲 P11)

(市民等取組提案)

京都への移住希望者の応援事業 **京都移住計画** ①移住希望者向け就職・住宅情報等の発信とマッチング、②移住相談窓口設置、③首都圏での移住相談会、④お試し移住・お試し職業体験実施、⑤移住希望者と既移住者の交流会開催 (各区)、⑥少子高齢化等が進む地域における「若者移住モデル事業」の企画・実施等、総合的な移住支援に取り組む。

移住希望者の心配や気がかりを解消するインターネットサイトの開設 **(株)リーフ・パブリケーションズ** 移住希望者の「京都は観光にはいいけど住むにはどうか」「京都の人は付き合いが難しそう」等の質問や誤解に答えるサイトを開設。

「空き家×まちづくり」 **あきや活用まちづくりセンター** 空き家の情報発信、移住者など活用希望者とのマッチング、移住体験のあっせん等に取り組む。

施策2 京都の強みを生かした交流人口増加

<施策の方向性>

「日本のこころのふるさと・京都」の強みを活かし、世界の人々が旅の本質^{*}に触れ、思う存分に堪能できる観光都市を実現するとともに、世界に冠たる国際MICE都市への飛躍を目指します。これらにより、国内外からの交流人口の増加を図るとともに、京都経済を活性化し、安定した雇用の創出を図り、税収の増加や都市格の向上を通じて、市民生活の向上につなげます。

「大学のまち・京都」、「学生のまち・京都」の強みを活かし、学びの環境を充実するとともに、住民自治の伝統が息づく地域の活動に関わったり、ほんものの文化に触れ、学び、身につけるなど、**学生や留学生の交流の機会を拡充**します。

★高度人材交流拠点の形成 京都の知的交流の場に大学の研究者や芸術家など世界のトップレベルの優れた人材を呼び込み、相互交流や地域との交流を促すための交流拠点を市内都心部につくる。それによって、世界的な人的ネットワークの形成等を図るとともに、新たなビジネスの創出や企業間のオープン・イノベーション、グローバル人材の育成など、様々な分野で価値創造を生み出す。

京都らしいおもてなし名人の育成などにより、京都ならではの「おもてなしの」更なる推進 特区による通訳案内士法の特例を活用し、伝統産業・伝統文化等を説明できる専門性の高い通訳ガイドを「京都市認定通訳ガイド」として認定することで、京都らしいおもてなしの名人を育成する。さらに、さすが京都と言われるような「おもてなし」を更に進めるため、「おもてなしコンシェルジュ」制度を充実するとともに、民間案内所の連携も含めた市内のおもてなし力を更に向上させる。

グローバル MICE 都市としての MICE 戦略推進事業 平成 25 年度に国の「グローバル MICE 戦略都市」に選定されたことを受け、大学との連携強化による同窓組織へのアプローチや、MICE ビジネスに関わる事業者や学術関係者による協議会の開催により、戦略的な MICE 誘致活動等を実施する。

MICE 誘致強化事業 大規模 MICE のみならず中小規模の MICE 開催支援を充実させるため、開催支援メニューの充実、産学公連携の強化、宿泊・飲食・会場施設等をコーディネートする組織やワンストップ窓口の開設など、主催者が京都を選択しやすい環境整備に取り組む。

市バス・地下鉄の外国人旅行者へのサービス充実 多言語対応の券売機導入や案内表示の充実等により、外国人旅行者の利便性向上を図る。

琵琶湖疏水の魅力発信 長年にわたって京都の市民生活や産業・文化を支えてきた歴史を持ち、今もなお取水施設としての役割を果たしつつ、市民の憩いの場としても親しまれる琵琶湖疏水の多面的な魅力を発信する。
また、近代化産業遺産として、歴史的に高い価値を有する疏水施設の修復や、四季を通じて美しい景観を織りなす疏水沿線の緑地の保全を推し進め、一層の魅力向上に努める。

外国人留学生の誘致、生活支援、就職に至る総合的な施策の推進 オール京都での留学生誘致・支援施策を推進するために設立した留学生スタディ京都ネットワークを軸に、大学や関係団体等と連携し、①生活や住居、交流、就職など留学生への支援施策の充実を図るとともに、②短期留学受入事業や、③総合ポータルサイトの開設、④海外フェアの開催など、市内の留学生を増加させる取組を推進し、大学・学生の国際化及び市民の国際理解の促進につなげる。

大学を核にした地域連携、企業連携の推進 ①京都のまち全体がキャンパスとしての役割を果たし、学生が活動するフィールドを拡充するため、大学や学生が地域と一体となり、まちづくりや地域の活性化を図る「学まちコラボ事業」等に取り組むとともに、京都市と大学の連携事業や、地域と大学・学生の連携・協働を促進していく。
②また、グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持った人を育成するとともに、留学生を含む学生が京都の企業を知り、京都の企業が学生を知る機会をつくるため、学生と企業が協働して、企業が抱える課題解決等のプロジェクトを経済界等と連携して推進する。

(市民等取組提案)

学生県人会の組織づくり **京都移住計画** 学生同士の交流促進、京都への愛着醸成、既存県人会との交流による就職支援などに取り組む。

基本目標③ 京都の強みを活かして、経済を活性化し、安定した雇用を創出する

- <成果目標> ・ 一人当たり市民所得 年平均 1.0%成長（過去 5 年間は年平均 0.3%成長）
 ・ 企業立地件数 H26 年度 100 件 ⇒ H31 年度 150 件

施策 1 新産業・新事業の創出支援、及び中小・小規模企業の事業の持続的発展支援

<施策の方向性>

中小・小規模企業の事業の持続的発展を支援するとともに、グリーン(環境・エネルギー)産業やライフサイエンス関連産業、コンテンツ(マンガ・アニメ・ゲーム・映画)産業などの成長分野における新たな市場や顧客の開拓による新産業の創出支援や、地域資源を活用した新事業の創出支援により、経済を活性化し、安定した雇用を創出します。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）

★：新規

★**京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業** 農家を志す若者の就農支援や、子供たちが親しめる伝統産業品の開発・販路開拓など、様々な社会的課題をビジネスの手法で解決する企業や、それを応援する人々が京都に集いつつある。こうした企業に社会的信用付与する企業認定制度を軸として、産学官金の連携による各種サポート策を充実させることにより、京都の未来を共に創出する。

★**バイオテクノロジーを生かした京都産業活性化事業(仮称)** 京都市産業技術研究所を中心に、(独)製品評価技術基盤機構やベンチャー企業等と連携し、環境汚染物質や有害微生物を簡単、迅速、安価に分析できる装置・試薬の開発を行う。

★**中小企業のニーズに即した高度研究機器を使いこなす人材育成事業** 京都産学共同研究拠点(知恵の輪)において高度研究機器を使いこなす人材を育成し、大学の研究支援や企業の技術力向上を目指す。

グリーンイノベーション創出総合支援プロジェクトなど環境・エネルギー分野での新産業の創出支援 エコ・エネルギー技術の市場化・実用化を目指した研究開発の助成、次世代技術の事業化を進める産学公連携プロジェクトの形成推進など、環境・エネルギー分野での新産業創出に取り組む。

医工薬産学公連携支援事業などライフサイエンス関連分野での新産業の創出支援 医学・工学・薬学の融合分野における産学公連携による研究開発・事業化プロジェクトの推進、中小・ベンチャー企業を対象とした革新的な医療技術の研究開発助成、大学と企業とのコーディネート活動の充実など、ライフイノベーションの促進によりライフサイエンス関連分野での新産業創出に取り組む。特に、食生活や運動といった健康な生活管理を促すためのヘルスケア商品の開発など、健康寿命の延伸を目指したヘルスケア産業の活性化に取り組む。

京都コンテンツの海外向け情報発信の強化 伝統、文化、マンガ・アニメなど京都が有する豊富なコンテンツを世界に発信し、海外からの誘客促進や海外を視野に入れたコンテンツ産業を推進するため、国際展示会や国際コンテンツマーケットへの出展等を行うほか、京都市メディア支援センターの機能強化を図ることで、海外のテレビ、雑誌等の各種メディアに対する積極的な情報発信を行う。

中小・ベンチャー企業の創業・育成支援 将来性の高いベンチャー企業や経営革新に取り組む中小企業の発掘、発掘した企業のインキュベーション施設への入居支援や研究開発助成など、産業支援機関と連携して、創業から事業発展に至るまでの継続的支援を実施する。

グローバル・ニッチ・トップ企業など中堅企業への成長支援 世界に羽ばたく中小・ベンチャー企業のグローバル・ニッチ・トップ企業への成長促進など、産業支援機関と連携して、有望な中小・ベンチャー企業の更なる成長を支援することで、雇用の拡大を目指す。

京北地域における農林業の活性化、地域資源を生かした新事業の創出 地域資源を活用した農山村の活性化や農林業の持続的経営力の強化を図る。

安全・安心でおいしい生鮮食料品及び食肉の提供と京都ブランドの確立に向けた施設整備の推進（再掲 P22）
京都市中央市場におけるより一層安全で安心な生鮮食料品及び食肉の提供のため、品質管理や効率的な物流工程を徹底する施設整備を行い、京都ブランドを確立するとともに、「食育」等の啓発事業による京の食文化の発信を通じて消費拡大を図る。

★まち・おみせ・ひと 縁結びプロジェクト（再掲 P18）

★空き店舗流通促進事業（再掲 P21）

（市民等取組提案）

京都市の中小企業をコーポレート・コミュニケーション(CC)専門人材の力で活性化させる

一般社団法人国際 CCO 交流研究所 京都市の中小企業の広報活動等を人的・理論的に支援し、企業の広報活動等を活性化させ、内外への中小企業のアピールや、中小企業の事業承継に役立て、地域を活性化させる。

施策 2 魅力あるビジネス環境の整備

<施策の方向性>

企業の発掘から成長までの一貫した支援、更には市内での継続的な事業展開を支援するために、企業の市外流出防止、市内の設備投資促進、市外さらには海外からの企業誘致を推進するとともに、産業支援機関の機能強化を図ることで、魅力あるビジネス環境を構築します。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）

★：新規

★中小企業支援の拠点となる京都経済センター(仮称)の整備 様々な知恵が融合し新たな価値を生み出す「交流と融合」の場を提供するとともに、新たな時代に相応しい中小企業支援機能を集積し、中小企業が抱える課題に京都の総合力を結集して取り組むための総合支援拠点を整備する。

企業誘致を推進するための新たな産業用地の創出 市内企業の市外流出を防止するとともに、国内外から企業を誘致し新たな産業集積を生み出すために、市街地内のまとまった土地や未活用の工業用地の活用などにより、新たな産業用地を創出する。

京都の新たな活力を担う「らくなん進都」をはじめとする市南部地域を中心とした企業誘致の推進 企業立地促進制度や、都市計画手法等の活用による事業環境の整備により、企業の市外流出防止、市内での設備投資の促進、市外、さらには海外からの企業誘致を推進する。また、地方拠点強化税制を活用し、東京からの企業誘致を強化する。

ものづくり中小企業の事業展開支援等（(地独)京都市産業技術研究所の事業推進） 地域資源を用いた研究開発の推進、試験・分析機器の充実、伝統産業の技術後継者育成、知恵産業の推進など、中小企業を技術面から支援する京都市産業技術研究所の事業を推進し、ものづくり中小企業の事業展開を支える。

新事業創出、中小企業などの成長支援等（(公財)京都高度技術研究所の事業推進） 新事業創出、中小・ベンチャー企業の成長支援など産業の活性化、ICT研究開発の推進、産学公連携による研究開発支援などを行う京都高度技術研究所の事業を推進するとともに、経済団体との連携により、総合的な支援を提供する。

施策3 働くことを希望する人と魅力ある京都の中小企業の出会いの支援

<施策の方向性>

「大学のまち・京都」、「学生のまち・京都」であることなど、地域（まち）の特性を活かした産業政策・雇用政策を一体的に実施し、京都で働くことを希望する若者と、高度な技術力を有するなど多様で魅力ある京都の中小企業との出会いの支援により安定雇用の創出や人づくりを推進します。

不本意非正規の正規雇用への転換や高齢者や女性、障害のある方など多様な人材の労働参加を促進する働き方改革の実施を通じて、雇用の質の向上を目指します。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）

★：新規

★京都ならではの働き方改革推進（不本意非正規の正規化・安定雇用）（再掲 P12） 非正規雇用率の高い宿泊・小売・飲食店関連事業者や行政、大学等で構成する研究会を設置し、安定雇用、雇用の質の向上に向けた具体的な方策を検討し、働き方改革の実現を目指す。また、関連する認証制度（「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業等）と連携し、子育て中の女性や高齢者等の雇用の創出・安定に努める企業の先進事例について、啓発セミナーの開催等により、広く発信し、普及・拡大を図る。さらに、フリーターや大学生に対し、各種セミナーや個別カウンセリング等を実施することで、多様な職業観を醸成し、正規雇用の拡大を図る。

★京都観光職業体験など京都ならではの働き方体験事業 中・高・大学生等の観光施設での職業体験の実施により、京都ならではの仕事と「おもてなしの心」を学ぶ、観光事業者によるインターン受入れの仕組みを検討する。

中小企業の人財確保・定着支援の推進 京都の中小企業が必要な人財を確保できるよう、中小企業の魅力を体感できる、企業情報発信 web サイトの充実や職場体験、学生と企業との交流会の実施などの効果的なマッチング支援に取り組む。中小企業就職者の定着率の向上を図るため、従業員のスキルアップや就職後のフォローアップ等を支援する。

「はあと・フレンズ・プロジェクト」をはじめとする障害のある方の就労支援の推進 障害者福祉施設をはじめ、広く障害のある方が生産などにかかわった製品の開発、生産、販売の新しい事業モデルづくりを行う本市独自の「はあと・フレンズ・プロジェクト」の推進により、製品開発や販路拡大における企業との連携機会を創出するとともに、障害のある方への理解を促進し、将来の雇用機会の創出を図る。「はあと・フレンズ・プロジェクト」をはじめ、「京都市障害者就労支援推進会議」を中心に、オール京都体制で、障害のある方の就労や職場定着の支援を推進する。

（市民等取組提案）

「学生×企業×未来 ブリッジ・プロジェクト」 **京都中小企業家同友会／京都同友会事業協同組合** 学生のキャリア教育等を支援。中小企業の求める人材と適切なマッチングを行う。また、小中学校・高校等での社会人講座などの要請に応え、経営者等を講師として派遣する。

京都の中小企業への若者の就労・定着をサポートし、活力ある京都の創造 **特定非営利活動法人 CaPSAY** 学生の就活・就職等に関する相談、企業の採用・教育等に関する相談に対応する。また、若者・学生と中小企業のマッチングや、中小企業の魅力などを親・学生等に周知するシンポジウムや講座等を開催する。

**基本目標④ 「日本のこころのふるさと」の魅力に磨きをかけ、心豊かな生き方、暮らし方を大切に
する社会を築く**

- <成果目標> ・ 「京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである」と思う市民の割合
(市民生活実感調査の数値から) H27年度 78.3% ⇒ H31年度 8割以上
- ・ 京町家まちづくりファンドや「京都市空き家活用・流通支援等補助金」制度、クラウドファンディング※活用事業等を活用して改修した京町家の件数 H26年度 34件 ⇒ H31年度 73件

施策1 「日本のこころ」を守り発信する取組、こころの絆の継承、自然との共生

<施策の方向性>

日本を代表する**伝統文化・芸術・暮らしの文化**などを守り、育て、発信する取組やふれあう機会の創出を進めます。さらに、日本の文化を支える、豊かな感性と匠の技を備えた**伝統産業**について、その育成・振興を図るとともに、「日本酒で乾杯条例」の普及等を通じて魅力の発信等に取り組みます。

歴史の重層性を実感できる建造物や庭園などの**多様な景観資産**、**自然景観と文化的資産**が一体となった**歴史的風土**など、**京都の特性**を守り、育てるとともに、**創造的な活用**を進めます。

商店街等と地元の人々の温かいつながりや、家族の絆など、**こころの絆の継承**を図ります。

三山の緑、都心部を貫く清流に象徴される、京都の文化の礎となってきた豊かな自然を慈しみ、自然からの恵みに感謝し、日々の生活に生かす志を多くの市民が共有し、行動する**自然との共生**の取組を進めます。

リーディング事業 (先導的・象徴的事業)

★：新規

★京都遺産制度等の推進 (再掲 P20) 京都のあらゆる文化遺産を抽出し、テーマやストーリーを持った文化財群として、立体的に再認識、再評価し、保護・活用するための制度を創設する。また、京都市独自の制度である“京都を彩る建物や庭園”制度、“京都をつなぐ無形文化遺産”制度を推進し、引き続き京都市内の文化遺産の維持・継承・活用に努める。

★学校給食における「和食」の充実に向けた取組の推進と情報発信 「食」に関する指導の充実を図るとともに、学校給食を通じて子どもから家庭に届けられる食に関する情報が、家庭でのふれあいや体験を通してより確かな学びとなるよう、毎月配布する家庭配布用献立表に和食についての知識を深めるコーナーを設ける。また、家庭教育新聞やホームページ等の各種媒体を活用して、和食文化や、「和食」の特徴を強調した献立(「和(なごみ)献立」)を中心に給食献立のレシピ等を情報発信する。

★まち・お店・ひと 縁結びプロジェクト (再掲 P16) 事業者と地域住民等が交流する機会をつくり、つながりを深めることで、事業者の売上向上と地域活性化を図る。

★日本のこころをつなぐ伝統産業振興・市町村共同プロジェクト 西陣と丹後など共通の課題を抱える府下関係市町村等と連携・共同した伝統産業振興方策を検討・推進する。

「京もの」の海外進出支援事業 京都の伝統産業製品の新たな需要開拓及び販路開拓を目指し、海外市場における新商品開発及びビジネスモデルの構築に向けた取組を支援することにより、京都が世界に誇る「京もの」の魅力を強力にアピールし、伝統産業の活性化を図る。

「京都伝統産業ふれあい館」活性化事業 伝統産業製品の長期的な需要低迷が続く中、京都の伝統産業の普及・啓発する拠点である「京都伝統産業ふれあい館」において、同館の人員体制強化を行い、観光客を取り込むための事業や職人と他業種との異業種間交流会の開催などを実施する。

KYO-MONO is COOL!プロジェクト 日本酒での乾杯を通じた伝統産業製品の振興を目的に、伝統産業の将来を担う若手職人や市内酒造組合等で組織されたプロジェクトチームが取り組む、日本酒と京都の伝統産業製品(京もの)を組み合わせた商品開発や、継続的な販売の仕組みづくりを支援することで伝統産業の振興と後継者の育成を図る。

学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組 一流の演者などの技能鑑賞や、歴史的にゆかりのある場所での文化芸術の鑑賞、文化財を修理する現場や発掘調査の体験など、「ほんもの」に触れる機会を創出し、京都の文化芸術を学ぶことにより、文化芸術の次世代の「担い手」、「支え手」を育てる。

「京都・和の文化体験の日」の実施など若者を対象とした伝統的な文化芸術に触れる機会の創出 若者が京都の伝統的な文化芸術に触れ、体験できる取組、「京都・和の文化体験の日」を実施する。

若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり 飛躍する可能性を秘めた若手芸術家等が京都のまちで活動を続けられるよう、さまざまな相談に対応する総合サポート窓口の開設、芸術家に適した空き家の紹介、閉校施設等の活用による制作場所の提供、専門家のネットワークによる発表活動の支援を行う。

京町家の保全・活用の推進 京都の歴史・文化・町並みの象徴である京町家について、京町家まちづくりファンドや「京都市空き家活用・流通支援等補助金」制度、新たな資金調達手法であるクラウドファンディング活用事業による改修の促進、「京町家魅力発信コンテスト ムービーからムーブメントへ」により制作された映像を活用した需要層及び供給層の掘り起こしをはじめとする普及・啓発の推進、新たな支援策の構築等により、その保全・活用の推進を図る。

「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進 区民提案により実施する京都市の支援事業のうちから「文化芸術による地域のまちづくり事業」を認定し、認定ロゴマークを掲げる取組を実施する。また、地域の暮らしの文化を集約した「京都おもてなし百科（仮称）」を作成する。

(市民等取組提案)

ココロを贈る京の御馳走プロジェクト **不便益システム研究所** 「馳走」の語源にちなみ、駅等の土産売場の既製の詰め合わせではなく、自ら複数の参画店を回って品物を吟味し、オリジナルの詰め合わせにして贈るシステムをつくる。

「Oh! ばんざい～家族そろって、いただきます～」 **Oh! ばんざい** 食べ物に感謝する心や食事マナーを身につけ食文化を伝えていくため、旬の食材を使っておばんざいを調理・実習するパーティーや、地域イベントでのおばんざい提供、おばんざいを調理し一緒に食べる体験を通じた婚活、外国人、若者と高齢者との交流イベントを開催する。

学生・社会人の学びの場としての京町家の活用 **特定非営利活動法人京町家再生研究会** 京町家を町家キャンパスとして、大学生たちの学びの場とする取組を既に行っており、この取組を更に進め、拡大する。また、修学旅行で来られた中高生を受入れ、京町家を一時的な学びの場として活用する。

京都市地域景観まちづくりネットワークの立ち上げ～景観まちづくりによる地域の価値向上へ～

京都市地域景観まちづくりネットワーク 地域景観づくり協議会の認定を受けた7地域の情報・経験を交換し、各地域の取組に活かすとともに、京都内外に情報発信し、ともに景観まちづくりに取り組む地域を増やし、京都の都市価値を高める。

自然と共生し、季節を感じるこころの創生～二十四節気を意識する暮らしの推奨～ **未生流笹岡** 京都では昔から季節の機微を大切にしながら、自然と共生した暮らしの文化や伝統産業を育んできたことを踏まえ、暮らしの中に季節感を取り入れることを普及・啓発する。企業、商業施設・商店街、学校、官公庁、マスコミ等が連携し、「今日が立春（雨水、啓蟄…）である」ことやそのいわれ等を周知する（施設内放送、情報媒体による周知等）。さらに、スーパー・商店街等の「旬の食べ物」のセールや、企業等の「ノー残業デー」等と連動させ、家族が揃って食卓等で季節を話題に会話するきっかけづくりを行う。

施策2 日本の伝統・文化を基軸とした「世界の文化首都・京都」の実現

<施策の方向性>

悠久の歴史の中で磨き上げられた景観と文化が息づく世界有数の歴史都市・京都は、多様な文化が重層的に生き続けるとともに、今なお新しい日本独自の文化を生み出し続ける創造の地です。

日本のこころの創生のためには、日本の精神文化の拠点であり、伝統、文化、ものづくり、自然、学術、宗教、おもてなしを体現する我が国を代表する都市である京都が、「世界の文化首都」としての役割を担うことが重要です。

この世界の文化首都を実現するために、京都に伝わる日本の文化や価値観を大切にし、日本を代表する歴史都市の再生・活用を国レベルの問題として提起する「国家戦略としての京都創生」や、皇室の方々に京都にもお住まいいただき、東京と京都とが都としての機能を双方で果たす「双京構想」、更に文化庁などの政府関係機関の京都移転等の取組を推進します。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）

★：新規

★「伝統産業の日」の全国拡大、法制化 国等と連携して、全国に「伝統産業の日」の取組を広げる。一定の期間、各地域の伝統産業のきもの着用や伝統産業製品の使用の奨励、官公庁での職員のきもの着用、日本酒で乾杯普及等の取組を、全国で展開する。さらに「伝統産業の日」を国制定の記念日とし、一層の振興と定着を図る。この取組により、全国各地の伝統産業振興や雇用創出につなげる。

★京都遺産制度等の推進（再掲 P18）

文化庁など政府関係機関の京都市への移転 「東京一極集中の是正」に向けては、研究機関等の政府関係機関のみならず、中央省庁を含む大胆な移転が、東京への人・もの・情報の集中の流れを変える大きな一歩となる。そこで、「文化芸術立国・日本」実現のための京都への文化庁等の移転にオール京都で取り組む。

京都創生海外プロモーション 国際的な事業の誘致や京都創生に対する支援・協力につなげるため、各国大使館関係者を京都に招き、京都の奥深い魅力と歴史的景観や文化を継承する取組等を視察していただく。

基本目標⑤ 地域の特性を踏まえ、豊かな地域コミュニティが息づく、安心安全で魅力と個性あふれるまちづくりを進める

<成果目標> ・ 京都創生お宝バンクの登録提案数 H26 年度 0 件 ⇒ H31 年度 累計 300 件

施策 1 地域コミュニティ等と行政の連携の仕組みづくり

<施策の方向性>

市民の誰もが地域活動に参加したくなるきっかけづくり、町内会・自治会等の地域コミュニティや市民活動団体と行政の連携の仕組みづくり、地域における市民の居場所や活躍の場づくりなど、地域の自主的、自立的なまちづくりを支援します。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）

★：新規

★「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」取組提案募集の実施 市民の皆様から、人口減少の克服に資する主体的取組を提案いただく「取組提案募集」（平成 27 年 4 月～7 月実施）について、改めて実施する。実施に当たっては、市民・地域・様々な団体はもとより、学生等から積極的な提案を募り、「京都創生・お宝バンク」（※）とともに、効果的な運用を図る。（※ 取組提案を登録して、ホームページで公開し、閲覧した市民・企業・NPO・大学等から、実現につながる情報や協働・支援の申し出を集める仕組み）

★空き店舗流通促進事業（再掲 P16） 商店街の空き店舗所有者と出店希望者との面談を通じたマッチング等を実施して、空き店舗を解消し、地域商業の活性化を図る。

京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」の充実 創設 3 年が経過した「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」について総括し、今後にどう活かしていくかを検討する。あわせて、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」に上乘せしている「だいすきっ！京都。寄付金（応援メニュー：地域振興）」による寄付について、更なる寄付金の獲得に向けた充実策や、より効果的な活用方法を検討する。また、区民まちづくり会議について、対話型の形式にするなど、より区民と行政のまちづくりにつながる方向に充実する。

各区における「まちづくりカフェ事業」の充実 区役所・支所で取り組んでいる「まちづくりカフェ事業」を全区で実施するとともに交流・発表会や成功事例集の作成を通じて、一層の活性化、発展を促す。

施策 2 安心安全な、便利で暮らしやすいまちづくり

<施策の方向性>

「世界一安心安全・おもてなしのまち・京都」を目指す取組による防犯力の向上や、ハード・ソフト両面の総合的な防災力の向上など、市民のいのちとくらしを守る、安心安全なまちづくりを進めます。

また、市民をはじめ誰もが便利で暮らしやすく、活動しやすいまちづくりを進めるため、公共交通機関の乗継利便性の向上等に取り組むとともに、自転車利用環境の整備やマナー改善を図るなど、ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」を推進します。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）

★：新規

京都駅南口駅前広場整備事業などによる公共交通機関の利便性の向上 京都駅南口駅前広場整備事業による、鉄道からバスやタクシー等へのスムーズな乗継の実現や、阪急電鉄及び京福電気鉄道の西院駅の再整備による、鉄道間の乗継利便性の向上などを推進する。これらの取組により、公共交通機関の利便性の向上を図り、市民が暮らしやすい環境づくりを行うとともに、京都の魅力向上につなげ、交流人口の拡大に寄与する。

すべての人が生活しやすい社会の実現に向けた「みやこユニバーサルデザイン」及び障害者差別解消法の理念に基づく取組の推進 みやこユニバーサルデザイン推進条例や障害者差別解消法の理念の下、各指針及び審議会等での意見を踏まえ、さまざまな事業の展開を通じて、その考え方を普及させるとともに、本市、事業者、市民等による主体的な取組や適切な対応を促進する。

世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動 市民生活の一層の安心安全の実現とともに、2020年の東京オリンピック等の開催を見据えた観光旅行者等の安心安全の向上による「世界一安心安全 笑顔でやさしさあふれる おもてなしのまち京都」を目指し、市民、京都市、京都府警察等の連携により、地域の特性、課題等に応じた行政区単位の犯罪防止等の一層の取組を全区において実施し、京都ならではの地域力・人間力をいかした市民ぐるみの運動を推進する。

防災行動マニュアルの実践による地域防災力の向上 自主防災会の防災計画である防災行動マニュアル(地震、水災害、土砂災害)の策定を推進するとともに、マニュアルに基づく訓練等の実践を図る。

ICTを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理(京の道・川・公園サポーター制度) 公共土木施設の維持管理について、ICTを活用しながら市民との協働による維持管理を進める。

安心・安全な市民生活の確保と、災害時における都市機能確保のための道路、橋りょうの防災機能の強化 緊急輸送道路等の都市防災上重要な道路、橋りょうに対し、斜面の崩落対策、耐震補強等を推進し、災害時でも通行機能を確保する。

歴史都市京都の密集市街地等における災害に強いまちづくりの推進 災害時に避難や救助に支障を来たす恐れのある細街路や密集市街地において、歴史都市京都の特性を生かしつつ、地域と行政、専門家や民間事業者が協力・連携して、市民が安心・安全に住み続けられる災害に強い『防災まちづくり』を広く展開する。

浸水被害の最小化を図る「雨に強いまちづくり」の推進 「雨に強いまちづくり」推進行動計画に基づき、ハード・ソフトを組み合わせた総合的な対策により、大雨による浸水被害の最小化を図る。

安全・安心でおいしい生鮮食料品及び食肉の提供と京都ブランドの確立に向けた施設整備の推進(再掲P16)

施策3 健やかに生きがいを実感できる健康長寿のまちづくり

<施策の方向性>

市民の**健康寿命の延伸**を図り、高齢者になっても生きがいを持っていきいきと地域社会で活躍できる社会を実現するため、健康づくりに関心の薄い市民も自身の生活習慣を見直し、具体的な行動変容につなげる仕組みを構築し、市民の主体的な健康づくりを全市的な運動として推進します。

リーディング事業(先導的・象徴的事業)

★：新規

★高齢者が地域の支え手として活躍できる仕組みづくり 「新しい総合事業」を実施し、現行の介護予防訪問介護及び介護予防通所介護等と住民等による多様なサービス(見守り・通いの場等)を総合的に提供する。また、地域の担い手養成研修を実施するとともに、担い手マッチングシステムを創設・運用し、担い手として活動を希望される高齢者と、活動を求めている団体とのマッチングを行う。

(市民等取組提案)

「からだの学校」人々の行動変容を促すことで健康長寿のまちづくりの実現を目指す **京都大学医療疫学** 地域の住民が健康について楽しく学び、自主的な健康管理の意識を高めることを目的とするITを活用したバーチャルの学校である「からだの学校」を使って、安心して暮らせる健康長寿のまちづくりを実現する。

施策4 都市部・周辺部それぞれの地域資源を活用した個性と活力あるまちづくり

<施策の方向性>

市内の中心地域から山間地域まで、都市部・周辺部それぞれの個性を活かした魅力ある地域のまちづくりが、住民主体に活発に進められています。

こうした状況を踏まえ、改めて各地域の多様な魅力・特色や、活用できる土地が少ない本市において更なる有効活用が考えられる土地をはじめ、各区・各地域の貴重な資源、ポテンシャル、地域力、人間力を最大限に活かし、「この区・この地域でずっと暮らしたい、学びたい、働きたい、子どもを生み・育てたい」という思いが、全ての区・地域で高まることを目指すまちづくりを進めます。

リーディング事業（先導的・象徴的事業）	★：新規
<p>★まちのシンボルとなる橋の創出 本市には、鴨川に架かる橋を中心に、デザイン性に優れた橋や歴史的な価値を有する橋等の「橋の景観資源（財産）」が多く存在する。それらの橋を修繕する場合には、地域特性を踏まえ、橋が持つ魅力と個性をいっそう高め、まちのシンボルとなるような景観整備を地域住民と協働する。</p>	
<p>★ニュータウンの活性化に係る取組の推進 洛西及び向島ニュータウンについて、住環境、子育て、地域コミュニティなど多角的、総合的視点からまちづくり全体のあり方を検討し、活性化に取り組む。</p>	
<p>★北部山間地域の振興 「京都 京北未来かがやきビジョン」等に基づき、本市の北部山間地域全体の活性化に取り組む。また、北部山間地域における農家民宿の開業・普及を促進するとともに、超高速インターネット環境の整備促進に取り組む。</p>	
<p>京都のまち全体の都市格の向上と魅力の発信を目指す地域のまちづくり ①大学を核とした山ノ内浄水場跡地活用の推進、②「文化の薫り漂う、歩いて楽しい岡崎」の推進、③多様な地域主体の連携による京都駅西部エリアのまちづくり、④崇仁地域とその周辺地域のまちづくりの推進、⑤京都駅東南部エリア活性化方針の策定及びそれに基づく取組の推進など、まち全体の都市格の向上と魅力の発信に取り組む。</p>	

(市民等取組提案)

<p>地域資源を活用した北部山間地域の活性化（鹿解体処理施設設置） 久多自治振興会 久多地域の更なる活性化のため、「シカ・イノシシ肉」の活用に向けて、久多自治振興会が中心となって処理施設の設置等に取り組む。</p>
<p>京都・大原地区の再活性化 京都・大原創生の会 「大原女まつり」をメインにした観光客参加型イベント期間の設定、農業体験・自然とのふれあい・寺院での催事体験メニュー等の充実、新名物・新名産品の開発などに主体的に取り組む。また、観光受入れ体制整備や生活者関連整備（駐車場、トイレ、宿泊施設、温泉、住宅、規制緩和等）などについて検討する。</p>
<p>京北地域での空き家活用・移住促進 空き家で生まれる京北絆プロジェクト委員会 京北地域において、行政をはじめ、事業者、専門家等のアドバイスも受け、地域に潜在する空き家を活用し、移住者の積極的受入れを進める。</p>
<p>京都・新「もみじ」をやる鹿ナイト！～鹿肉を京都の新たな地域ブランドに～ 京しかミーツ 地域の方々に、鹿肉が地域資源となることを理解していただき、地域おこしに意欲的になってもらうため、地域イベントに参加し、鹿肉普及のイベント企画など、鹿肉料理のPRを行う。</p>
<p>自然・歴史・文化遺産をいかした高雄地域のまちづくり 高雄地域活性化実行委員会 お茶発祥の地などの歴史・文化遺産や、紅葉・青もみじなど豊かな自然環境を活かした、高雄地域ならではの三尾めぐりや、各種お茶のイベントなどの開催に取り組む。</p>
<p>魅力発信！！洛西ニュータウン 洛西ニュータウン創生推進委員会 住まいと景観チーム 洛西ニュータウンの人口減少に対応するため、事業者等と連携した空き家情報の発信や、素晴らしい生物多様性に満ちた魅力の進化・発信をはじめ洛西ニュータウンの良さのアピールに取り組む。将来的に、空き住戸の一部を活用した暮らし体験や観光体験による移住・定住促進や観光振興に図る。</p>

京都洛西 大原野のまちづくり **なんやかんや「大原野」推進協議会** 大原野「地域ブランド」戦略に基づき、6次産業化の推進、農家民宿、移住者の受入れ等に自主的・主体的に取り組む。また、必要最低限の道路・駐車場の整備、定住促進のための住宅建設、規制緩和等について検討する。

公共交通機関を活用した伏見・宇治観光ネットワークの構築など **伏見・宇治観光連携研究会** 京都駅南口のリニューアル（平成28年予定）を機に、京都の玄関口と伏見の観光スポットを直結する新たな交通ネットワークの構築についての研究や、魅力的な観光プログラムや外国人を含む観光客の受け入れ推進などの検討や取組を、区民・企業・行政等と知恵と力を出し合ってい、伏見区の魅力を高める。

「我が区・地域紹介！街ソング」の制作・広報 **（株）エフエム京都** エフエム京都、地域、地域の大学等の学生、合唱団、区役所等が連携し、地域の名所巡りや道覚え、地域自慢等を歌詞にした「我が街ソング」を作詞・作曲・演奏・録音する。また、エフエム京都の放送でオンエアし、さらには映像化してインターネット、市施設等でPRする。

IV 推進体制等

1 推進体制

(1) 「チーム京都」による推進

- ア 各基本目標のリーディング事業の中から、シンボリックな事業を選定し（複数）、本市担当部局の職員や、取組主体の市民等によるプロジェクトチーム「チーム京都」を組んで、一体的に推進することを検討します。
- イ 各チームでは、参画する本市職員と市民・関係団体等の方々が、目標の共有、取組の連携・協力の相談、取組推進のための知恵の出し合い等を行います。
- ウ また、市民・関係団体等の方々と本市職員が“垣根”を超えて交流し、率直に議論し、刺激し合い、理解と絆を深めながら切磋琢磨する中で、共に“人口減少社会克服の担い手”として、互いに高め合うことを目指します。 ←**人づくりの視点**

「チーム京都」の例

基本目標① 人々や地域のやさしさあふれる子育てしやすい環境を高め、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての希望 みんなで応援チーム（仮称）

「結婚・出産・子育ての希望の実現」に、市民・民間団体・行政等が力を合わせて取り組む。

基本目標② 国内外から訪れ、学び、住み、交流する新たな人の流れをつくる

「住むなら都」移住支援チーム（仮称）

東京圏を中心に京都への移住者数の増加を目指す。

基本目標③ 京都の強みを活かして、経済を活性化し、安定した雇用を創出する

魅力的な仕事との出会い促進チーム（仮称）

若い世代をはじめ就職希望者の京都企業への就職を促進する。

基本目標④ 「日本のこころのふるさと」の魅力に磨きをかけ、心豊かな生き方、暮らし方を大切にする社会を築く

「日本のこころ」創生チーム（仮称）

伝統文化、伝統産業、暮らしの文化等に人々が触れ、体感する機会の増加を目指す。

基本目標⑤ 地域の特性を踏まえ、豊かな地域コミュニティが息づく、安心安全で魅力と個性あふれるまちづくりを進める

各区・地域の「我がまち」創生チーム（仮称）

地域における住民の方々主体のまちづくり活動をさらに促進する。

- (2) 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業を活用し、社会的課題の解決に挑戦する市民、企業、NPO、大学等との連携
- (3) 各施策等の推進のための関係団体等との連携体制の整備
- (4) 市民・関係団体等（産官学金労言）の知恵を集める仕組みづくり

2 国、府、他の市町村等との連携

- (1) 国との連携：国の財政支援、人的支援、情報支援を活用、国等への提案・要望も積極的に実施。
- (2) 府との連携：京都全体、我が国全体の地方創生の推進を視野に協議・意見交換。
- (3) 他の市町村、市長会、関西広域連合との連携：一層連携を深め、協調して地方創生を推進。

3 点検・検証

上記1(4)と併せて、市民・関係団体等（産官学金労言）に、取組の効果を検証いただく仕組みを整備します。また、点検・検証を踏まえ、PDCAサイクルにより施策・事業の改善を行います。

4 積極的な情報発信

市民の皆様と行政が、危機感、課題、目標をしっかりと共有し、共に「自分ごと」、「みんなごと」として一丸となって取組を進めることが重要であり、この観点から、総合戦略の内容はもとより、施策の実施状況や市民等提案の取組や「チーム京都」の活動状況など、総合戦略に関わる情報の積極的な発信に取り組みます。

用語説明

- **合計特殊出生率**
一人の女性が一生の間に生む子どもの数
- **希望出生率**
結婚や出産の希望が実現した場合の出生率
- **人口置換水準**
人口規模が長期的に維持される水準
- **インキュベーション施設**
「(卵などが) ふ化すること」になぞらえ、起業家の育成や新しいビジネスを支援する施設のこと
- **学校運営協議会**
保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参加するための組織。京都市では、学校運営について「協議」するだけでなく、多くの市民のボランティアの参画を得て、共に「行動」する「京都方式」の学校運営協議会を運営している。小学校における学校運営協議会については、全小学校に設置済み（政令指定都市初）であり、平成 32 年度に全中学校に設置を終える予定
- **クラウドファンディング**
インターネット上で事業者と多数の投資家とを結びつけ、幅広く資金を集める仕組み
- **グリーン産業**
経済活動から生み出される成果により、良い環境影響を導き出したり、環境影響に悪い要因を取り除くことを実現する産業
- **グローバル・ニッチ・トップ企業**
特定の分野で極めて高い国際競争力を有する企業のこと
- **真のワーク・ライフ・バランス**
京都市が提唱する独自のワーク・ライフ・バランスの考え方で、「仕事」「家庭」「地域・社会」との「つながり」を大切にし、そこで求められる役割や責任を果たすことで、心豊かな人生を送るという視点をとり入れた新しい取組
- **ソーシャル・イノベーション・クラスター**
ソーシャル・イノベーションとは、福祉や教育問題などの社会的課題を、ビジネスの手法によって解決しようとする「ソーシャルビジネス」において、これまでにない新たなやり方で、課題解決だけではなく社会や経済にとって新たな付加価値を生み出すこと。
これを、企業、大学、公的組織が地理的に集積し、相互の連携を通じて行う（クラスター）。
- **旅の本質**
人に出会い、風景に出会い、心打たれる出来事に出会い、そして新たな自分自身に出会う。旅を通して、気付き、学び、癒され、元気をもらい、成長し、人生が深く、豊かになること
- **ライフサイエンス**
生命現象のメカニズムを解明する科学の成果を、医療・環境・産業等の様々な分野に応用するもの。本市では、健康、福祉、介護、食品等も範囲に含める。

「京都創生・お宝バンク」登録提案一覧

「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」取組提案募集(平成 27 年 4 月 22 日～7 月 31 日)に、市民、関係団体等の皆様から、137 件もの意欲的な取組の御提案をいただきました。

No.	取組提案名 (提案者・団体名)	※「京都創生・お宝バンク」登録順・敬称略
1	洛北伝統芸能の研究発表会 (洛北郷土芸能まつり実行委員会)	
2	おむすび (おむすび)	
3	空き家活用と高齢者の雇用創出 (匿名(個人))	
4	学生県人会の組織づくり (京都移住計画)	
5	京都への移住希望者の応援事業(居・職・住の応援) (京都移住計画)	
6	「まち・ひと・しごと・こころ京都創生提案募集」に提案された取組(福祉関係)等への活動助成 (社会福祉法人京都府共同募金会)	
7	障害者が働きやすい・また資格を取れる京都市をめざす取り組み (匿名(個人))	
8	一日先生体験, 一日保育士体験 (西念寺保育園)	
9	日本全国 2000 教室以上の個人料理教室を活用した地域食材発信施策 (匿名(企業))	
10	寒天発祥の地の記念碑設置 (植野 彰)	
11	中学校などでの「医療」の授業等実施による, 人づくりと人口減少社会での雇用創生 (日本患者学会)	
12	京都安心回帰プロジェクト (君塚 孝一)	
13	京都市「我が区紹介街ソング」展開 ((株)エフエム京都)	
14	「まち・ひと・しごと・こころ京都創生提案募集」に提案された取組の広報の支援, 主催イベントの実施 (京都リビング新聞社)	
15	「大人のハローワーク～京都で働く魅力～」 ((株)リーフ・パブリケーションズ)	
16	京都人取扱い説明書, 略して「京説」。 ((株)リーフ・パブリケーションズ)	
17	介護タクシーの PR! ～首都圏の介護難民の地方移住をアシスト～ (介護タクシー ワンダフルケアサービス)	
18	介護福祉士などを育成するうえでの京都の役割 (介護タクシー ワンダフルケアサービス)	
19	課題ある子育て家庭の為に「子育て支援総合センター」 (特定非営利活動法人 アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねっと)	
20	地域ボランティアによる商業施設内での託児サービスの実施 (NPO 法人 らくさいライフスタイル)	
21	新規就農者や異業種からの農業参入者支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
22	農林業の6次産業化及び農業生産現場の強化支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
23	クールジャパンの促進支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
24	ソーシャルビジネスの育成支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
25	ベンチャー企業の育成支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
26	企業誘致の促進支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
27	事業継承の促進支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
28	創業のトータル支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
29	古都を綺麗に ((株)TRUST TEC)	
30	「すり足カップ」～能楽を楽しく学ぶ～(仮) (「キノモスタート」プロジェクト)	
31	きものエコ壁掛け(箆笥に眠る, 思い出のきもの活用法) (富澤 成夫)	
32	大学生の創業支援 (日本政策金融公庫 京都支店)	
33	京都洛西 大原野のまちづくり (なんやかんや「大原野」推進協議会)	
34	高齢者の経験や知恵の活用～若者たちへのアドバイス～ (堀井 滋夫)	
35	商店から生まれるコミュニティ ((株)フラットエージェンシー)	
36	京都で働く若者の部屋探しの心配をなくそう ((株)フラットエージェンシー)	

37	留学生および日本人学生向けの企画案 (株フラットエージェンシー)
38	京の伝統 映像アーカイブ (匿名(個人))
39	体験型史跡観光「大政奉還物語」 (匿名(個人))
40	歩く見本市「みやこもん行列」 (匿名(個人))
41	町家ゲストハウス街 (匿名(個人))
42	京都コレクション (匿名(個人))
43	家系図ノート (匿名(個人))
44	自然と共生し、季節を感じる心の創生～二十四節気を意識する暮らしの推奨～ (未生流笹岡)
45	外国人から英語で学ぶ日本文化の真髄 (合気道無限塾)
46	障害のある作家の芸術活動の支援や作品の記録・保存とその活用 (NPO 法人障害者芸術推進研究機構(天才アートミュージアム))
47	空き家の利活用を促進するシステムづくり (一般社団法人 北区地域福祉サービスの会)
48	昭和の街並み再現 (匿名(個人))
49	暮らすように泊まる町家暮らし体験 (匿名(個人))
50	WEB 媒体を活用し京都市のイメージ UP (株リーフ・パブリケーションズ)
51	空き家×まちづくり (あきや活用まちづくりセンター)
52	「留学生就職支援セミナー」の開催 (株フラットエージェンシー)
53	「京都創生マッチング商談会」 (京都信用金庫)
54	キャラクターを用いた交通安全啓発(交通事故のない安全なまちづくり) (光るマン劇場)
55	自然・歴史・文化遺産をいかした高雄地域のまちづくり (高雄地域活性化実行委員会)
56	「桃山プロジェクト～伏見桃山を桃源郷に～」 (桃山プロジェクト)
57	「Oh! ばんざい～家族そろって、いただきます～」 (Oh! ばんざい)
58	ココロを贈る京の御馳走プロジェクト (不便益システム研究所)
59	「おやじの知恵とノウハウ」貸しまっせ!! (京都「おやじの会」連絡会)
60	映画都市・京都として夢を提供するまちであり続けるために (匿名(個人))
61	息づいてこそその文化～きもの産業の生業としての再生について～ (植田 修)
62	<ひとりぼっちにならない社会>の実現 (京都自死・自殺相談センター Sotto)
63	地域・企業・行政によるアーティストおよびアートコーディネーターの活用促進 (東山 アーティスト・プレイスメント・サービス(HAPS))
64	着物の普及のためのチーム作り～着物製造の各分業工程を結集! (匿名(企業))
65	静原地域の文化を楽しみ継承するプロジェクト (静原を楽しむ会)
66	京都・新「もみじ」をやる鹿ナイト!～鹿肉を京都の新たな地域ブランドに～ (京しかミーツ)
67	Japanese snacks from KYOTO (G プロジェクト)
68	京都銀行からのご提案 (株京都銀行)
69	公共交通機関を活用した伏見・宇治観光ネットワークの構築 (伏見・宇治観光連携研究会)
70	生涯学習/協働学習支援の方策～生涯学習の基盤づくり(子ども達の知的好奇心向上)～ (リコージャパン(株)京都支社)
71	子ども/高齢者見守り支援の方策～ICTを活用した見守りの街～ (リコージャパン(株)京都支社)
72	留学生スタディ支援の方策～留学生スタディ京都ネットワークの構築～ (リコージャパン(株)京都支社)
73	町並み VR 体験(開発)の方策～京都観光振興計画2020～ (リコージャパン(株)京都支社)
74	企業化支援(プロジェクションマッピング)の方策～京都観光振興計画2020～ (リコージャパン(株)京都支社)
75	観光支援策の方策～観光客・市内散策率の向上による交流人口増加策～ (リコージャパン(株)京都支社)
76	観光支援策の方策～市民サービス向上のため紙とデジタルをつなぐサービス～ (リコージャパン(株)京都支社)
77	海外企業進出支援の方策～中小企業国際化・6次産業国際化支援～ (リコージャパン(株)京都支社)

78	空き屋(まちや改装)宿泊施設 オフィス改装の方策～「スマートワークセンター」事例～ (リコージャパン(株)京都支社)
79	空き屋管理の方策～空き家調査管理システムソリューションの提供～ (リコージャパン(株)京都支社)
80	EVでスマートコミュニティ (谷口 隆捷)
81	産学市民連携による地域公共人材育成のための地域資格制度「地域公共政策士」 (龍谷大学地域協働総合センター)
82	退職校長のノウハウ・経験の活用 (京都市立小学校退職校長会／京都市立中学校退職校長会)
83	京都おいでやすマップ (特定非営利活動法人 京都カプスサポートセンター)
84	学生のまち京都を活かす取組 (公益社団法人京都青年会議所)
85	商店街と留学生によるコラボレーション (100人委員会国際チーム)
86	「人生史芸術」発展計画 (特定非営利活動法人劇研)
87	地域内経済循環型、芸術・文化を介在した地域の居場所づくりモデル事業 (特定非営利活動法人劇研)
88	訪日外国人観光客と京都市民の草の根交流の場作り (由良 知子)
89	学生・社会人の学びの場としての京町家の活用 (特定非営利活動法人京町家再生研究会)
90	ことしょ (チーム「居場所いいばしょ」)
91	「潜在保育士の職場復帰に向けた研修」 (株アルファコーポレーション, 滋賀銀行)
92	「企業の事業所内保育所共同設置の支援」 (株アルファコーポレーション, 滋賀銀行)
93	「(外国人を含む)京都観光客のための一時預かり保育施設の設置」(株アルファコーポレーション, 滋賀銀行)
94	「来庁者向けの一時預かり保育施設の設置」 (株アルファコーポレーション, 滋賀銀行)
95	「市主催のイベント時の託児サービスの実施」 (株アルファコーポレーション, 滋賀銀行)
96	コミュニティヘルス向上委員会 (蟹谷 有架)
97	「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略実現に向けて ～東京海上グループ総合力を生かした地域活性化～ (東京海上日動火災保険(株))
98	洛西ニュータウンを再生しよう～子育てしやすい若者の街へ！ ((公社)京都府宅地建物取引業協会)
99	学生, 特に留学生への住宅提供と地域との交流 ((公社)京都府宅地建物取引業協会)
100	商店街の空き店舗を埋める戦略的取り組み ((公社)京都府宅地建物取引業協会)
101	外国人観光客への宿泊所提供(空き家活用) ((公社)京都府宅地建物取引業協会)
102	地域資源を活用した北部山間地域の活性化(鹿解体処理施設の設置) (久多自治振興会)
103	久多支え合いバス「やまびこ号」の地域住民による自主運行 (久多自治振興会)
104	共に子どもを育み, 豊かな地域をつくる, スポーツ少年団活動の活性化 (京都市スポーツ少年団)
105	京都景観エリアマネジメント講座と京都景観エリアマネージャーのネットワークによる活動 (NPO 法人京都景観フォーラム)
106	京都市地域景観まちづくりネットワークの立ち上げ ～景観まちづくりによる地域の価値向上へ～ (京都市地域景観まちづくりネットワーク)
107	癒やしイベント『京都 癒やし心 beaute』 (京都フェアリー)
108	現代アート特区 超京都(art town META-KYOTO)構想 (超京都実行委員会)
109	「学生×企業×未来 ブリッジ・プロジェクト」 (京都市中小企業家同友会／京都同友会事業協同組合)
110	京都市の中小企業の未来について, 高校生や大学生の新鮮で大胆なアイデアによるプレゼンテーション大会 を実施し, 中小企業を活性化させる (一般社団法人国際 CCO 交流研究所)
111	京都市の中小企業をコーポレート・コミュニケーション(CO)専門人材の力で活性化させる (一般社団法人国際 CCO 交流研究所)
112	産学公連携による人材育成 (グローバル人材開発センター)
113	京都の中小企業への若者の就労・定着をサポートし, 活力ある京都の創造 (特定非営利活動法人 CaPSAY(キャプセイ))
114	早朝ウォーキングで地域の交流 (公益社団法人京都市児童館学童連盟)
115	「もっと身近に～子どもたちが集う児童館×図書館」 (公益社団法人京都市児童館学童連盟)

116	京都の大学と京都の企業との連携事業（公益社団法人京都市児童館学童連盟）
117	地域コミュニティを作り地域を見守る（公益社団法人京都市児童館学童連盟）
118	百人一首を楽しもう！（公益社団法人京都市児童館学童連盟）
119	京北地域での空き家活用・移住促進（空き家で生まれる京北絆プロジェクト委員会）
120	ダンス・音楽活動による地域活性化（ペルトン(PELTON)）
121	ママのための健康診断（マミーズアップ）
122	ユニバーサル スタディ きょうと（京楽ラクプロジェクト）
123	みんなで“子どもと一緒にのお出掛け”が、楽しくなるまちづくりをしよう（京都(〇)／にこわく）
124	学びの場を、もっと楽しく・多様なまちにしよう！（特定非営利活動法人京都子どもセンター）
125	「深草土」継承プロジェクト（「深草土」継承プロジェクト）
126	（仮称）みらい地図（井上 良一）
127	「保育×介護予防」（おおきなかぞく）
128	市井の古文書、保存プロジェクト（特定非営利活動法人 史料データ保存ネットワーク）
129	すまいで婚活『すま婚』プロジェクト（すま婚実行委員会(株)Quon）
130	からだの学校 人々の行動変容を促すことで健康長寿のまちづくりの実現を目指す（京都大学医療疫学）
131	『くらしの学び庵』—孤立防止のための自助・互助強化プログラム開発プロジェクト— （京都大学こころの未来研究センター）
132	妊婦が安心して出産・子育てできるように情報提供したりつながれる場づくり （つどいの広場いっぽ(NPO 法人京都子育てネットワーク）
133	出張広場の開催への継続的な協力（つどいの広場いっぽ(NPO 法人京都子育てネットワーク）
134	魅力発信！！洛西ニュータウン（洛西ニュータウン創生推進委員会 住まいと景観チーム）
135	京都・大原地区の再活性化（京都・大原創生の会）
136	ITの力で社会の課題を解決しよう！（Code for Kyoto）
137	人口減少問題(住宅問題の解決)（匿名(個人)）

※ 提案内容の詳細については、京都市地方創生ホームページ「住むなら都 情報サイト」内の「京都創生・お宝バンク」で、公開しています。URL <http://cocoronosousei.com/otakara.html>

※ 「一緒にやろう」「手伝いたい」「こんなアイデアあるよ」などの提案実現につながる御意見を投稿してください。上記のホームページ、又は裏表紙の【問合せ先】に御連絡ください。

<今後の募集に向けて寄せられた提案の御意向>

「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」取組提案募集については、7月31日に一旦、募集終了とさせていただきますが、その後、市民グループなど複数の方々から、今後の募集に向けて、「ぜひ提案したい」等の強い御意向をお寄せいただいております。

意欲的なお申し出を大変心強く受け止めており、そのうち具体的な取組内容をお示しいただいて、事前の御相談をいただいている皆様の提案予定について、以下に御紹介させていただきます。

京都市地域女性連合会	【“となりのおばちゃん”の京都創生】、【温もりの心で地域に思いやりを！】、 【女性会活動から“こころのまちづくり”を！】、【女性会のサークル活動を活用した趣味・教養の場の提供】、 【京都創生に取り組む団体を支援する認証制度の創設】
宕陰活性化実行委員会	【子供の声よ棚田に響け！～宕陰地域活性化アクションプラン推進事業～】
柘野まちづくりビジョン推進委員会	【ふるさと柘野・まちづくりビジョンの推進】
竹山事務所	【京都感幸「京のきせつ正月・きせつ正月詣で」】
匿名（企業）	【京都観光振興計画 イベント企画のご提案】
フューチャーベンチャーキャピタル(株)	【京都市起業支援ファンドの提案】

「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略 **概要版**

【問合せ先】

京都市まち・ひと・しごと・こころ創生本部（事務局 京都市総合企画局市長公室創生戦略担当）

電 話:075-222-3978 FAX:075-213-1066

電子メール:sosei-senryaku@city.kyoto.lg.jp

京都市地方創生ホームページ「住むなら都 情報サイト」URL <http://cocoronosousei.com/>



平成 27 年 9 月策定・発行（京都市印刷物番号:第 273095 号）